

令和7年第1回定例会一般質問通告書

質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
安藤 和久 議員	1 消防団について	(1) 喜界町では、消防団員が定数に満たない分団がいくつかあるようだが、ここ数年来、団員数の増減はどのような状況か。また、大島郡内他市町村の現状はどうか。	町長
		(2) これまで団員を増やす手立ては、どのようにしてきたか。また、手応えはどうであったか。	
	2 高齢者の接遇について	(1) 先の12月議会で、ポイントカードを取りやめた理由を伺ったが、新年度よりする予定はあるかどうか。	町長
		(2) 60歳以上の割合が半数を超える町内において、高齢者の元気度アップを図るには、どのような対策を考えているか。	
	3 教育施策について	(1) 小学校の英語教育が必修になって数年経つが、児童の反応や定着度はどうか。また、中学校との系統化や中学校の英語力は高まっているか。	教育長
		(2) 町内の2小学校で英語検定試験を受ける児童はいるか。その際に補助金を出しているかどうか。	
(3) 町内小中学校における過去5年間の不規則登校の児童・生徒数を伺う。また、そのような児童・生徒に対するバックアップ等は、どのようにしているか。			
生島 常範 議員	1 共同納骨堂建設計画について	基本設計委託料(317万1千円)の予算措置がなされたことで、町民のみならず、島外在住の出身者の関心も高い。	町長
		(1) 今後の計画を伺う。	
		(2) 島外在住の遺族の方々には納骨された祖先が喜界島で生まれ育った事を後世に伝えるデータベース化も必要と思うが、計画に盛り込めないか伺う。	
	2 「喜産喜消・喜消喜産」で域内循環型社会のまちづくりについて	図書館と書店の連携同様、地消地産、地産地消は喜界町がしなやかに生き残る自治体として全分野に広げていく必要がある。	町長・ 教育長
		(1) 平成27年度時点では、学校給食での地場産利用率50%(H31年目標)。令和2年度の改訂では、島の食材を使ったメニュー10%増(R6年目標)となり、令和4年度は、現状値9.1%で、令和8年度目標値は10%となっている。目標計画実現のため、町民の意識向上に向けた対応策と併せてその成果と課題を伺う。	
		(2) 給食用地元食材使用実績は重量ベースで毎年9%前後。喜界町が目指す「農産物直売所と連携して学校給食や飲食店での地域食材利用率の向上を図る」には、担当課の教育委員会総務課だけではなく、農業振興課、企画観光課を含めた官民連携組織が必要と思うが見解を伺う。	

令和7年第1回定例会一般質問通告書

質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
生島 常範 議 員	2 「喜産喜消・喜消喜産」で域内循環型社会のまちづくりについて	(3) 鹿児島県は「かごしま地産地消推進店」の店舗数を増やす事で、町民や来島したお客様へ魅力ある地場産食材及び郷土料理提供など、地産地消事業を推進する方策としている。この事業の喜界町での取り組みの状況を伺う。	町長・ 教育長
	3 文化財振興の方策について	島内の「八月踊り」の継承も楽観できない状況である。保護条例にもある「標識等」で内外に知らせる方法や「喜界島の全集落八月踊り」も指定できないか現在検討中とのこと。	教育長
		(1) 指定済み無形文化財の保持団体の活動を支援するため、喜界島マラソンをはじめとした様々な町の行事・イベントにおいて活躍の場を提供し、島内外に活動の周知を図るとともに、活動支援金等の創設はできないか伺う。	
	(2) 「危機的状況にある言語・方言サミット」開催が予定されている。子ども達にとっても島の言葉は両親、祖父母、先祖、地域とつながる地域の宝。これを機に全国どこの自治体でもまだ例は無いが「シマゆみた(しま言葉)」も喜界町無形文化財に指定して官・民・学・地域連携で継承への気運を高める事はできないか、また併せて喜界町独自の計画はあるか伺う。		
良岡理一郎 議 員	1 国民保護計画について	(1) 鹿児島県は外国からの武力攻撃を予測し、奄美群島の住民約10万2千人を県本土へ避難させる図上訓練を行い避難完了まで約2週間かかると見込みを発表している。喜界町民約6,300名の生命と財産、生業を守るのは町の最優先の課題である。以下伺う。  ① 町民の生命、財産、生業を守れるのか。 ・人口約6,300名(入院、入所、自宅療養など要配慮者) ・生業(牛など家畜) ・犬、猫等のペット  ② 喜界島島民が島外避難完了までに約10日かかると試算されている。また、令和7年度以降、喜界島でも実働訓練が計画されている。町の説明を求めたい。	町長
	2 令和7年度 町内での軍事訓練等について	(1) パラシュート降下訓練等について伺う。 ①目的 ②実施場所 ③実施日 ④米空軍輸送機及び陸自輸送機、ヘリの飛行経路 ⑤各訓練の日時及び場所並びに参加人数 ア、空挺降下 イ、自由降下 ウ、市街地訓練 エ、生存自活訓練 ⑥参加国 人数 部隊等 ⑦町民の不安を解消し、安心・安全を確保するため訓練前・後の訓練地域、公道の安全確認は欠かせない。どのような安全確認の作業計画か。 ⑧訓練終了後の参加部隊の帰路経路、帰着地	

令和7年第1回定例会一般質問通告書

質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
良岡理一郎 議員	2 令和7年度 町内での軍事訓練等について	(2) 訓練には外国の軍隊も参加すると聞く。訓練期間中の外国参加軍人の生活行動について町はどのように把握し、どのように対策を考えているのか。	町長
		(3) 軍事訓練が大幅に遅れていることについて、防衛省から喜界町や鹿児島県への説明がない。(2/18現在)。県知事の陸上総隊司令官宛への要請からも逸脱している。大幅な遅れの原因を明確にさせ、今後の対策を求めるべきではないか。	
	3 自衛官募集名簿提供の除外申請について	(1) 自衛官募集名簿の提供等について改めて伺う。	町長
		①自衛隊への名簿提供時期は何時か。	
		②自衛官募集名簿提供の除外申請期間は何時か。 ③町民への周知は何時、何の媒体を使って実施するのか。	
4 マイナカード及びマイナ保険証について	(1) 電子証明書の有効期限切れの対応及び町民の利用状況を伺う。	町長	
	(2) 集計可能な直近のマイナ保険証利用率を伺う。 ①本町 ア、病院 イ、診療所 ウ、歯科医院 ②県 ③国全体		
	(3) 9月末時点より利用率は伸びているが、その要因を伺う。		
	(4) 諸事情でマイナ保険証を持たない国民健康保険と後期高齢者の皆さんへの資格確認書の発行及び準備状況を伺う。		
	(5) マイナ保険証の解除件数、解除に伴う資格確認書の交付件数は何件か。		
5 共同納骨堂について	(1) 町民の期待が強く、関心も高い。共同納骨堂及び火葬場の完成予定までの手順及びスケジュールを伺う。	町長	
中山 義浩 議員	1 インフラ整備(通信環境改善)について	昨年の台風10号で本町は多くの被害を受け、特に北部地域において通信障害が発生し、町民の安全確認や島外の親族等との連絡がしづらい状況が長期間続く災害となった。	町長
		(1) 昨年の12月18日にNTT西日本と災害に備え連携協定を締結されたが、詳細を伺う。	
		(2) 電話線(有線)に関しても、未だに多くの電線が垂れ下がっている状態である。電線撤去の時期等についてNTTと協議しているか伺う。	
		(3) 島内でも未だ繋がりにくい移動体通信事業者もある。町で各事業者に改善を要望出来ないか。	

令和7年第1回定例会一般質問通告書

質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
中山 義浩 議 員	2 愛護動物火葬炉設置実現へ向けて	(1) 2019年に導入された小型焼却炉「チリメーサー」の現在の状態、使用状況を伺う。	町 長
		(2) チリメーサーを利用して火葬炉との併用はできないのか伺う。	
	3 基幹産業さとうきび操業の課題について	<p>今期、操業中に糖蜜船の運航が予定通りに行かない事で本町だけでなく群島全体で操業の一時停止などが相次ぐ状況となっている。これにより操業期間の延長が余儀なくされており、来季の操業にも影響が出ると思われる。</p> <p>(1) 今後、同じような状態が懸念されるが、操業を停滞させないために町として対策を考えているか伺う。</p>	
土岐 和貴 議 員	1 ガバメントクラウドとデータ主権及び経済安全保障について	<p>(1) 政府は2024年12月24日、地方自治体が運用する情報システムの標準準拠システムへの移行に関する基本方針を再改定することを閣議決定した。自治体は標準準拠システムをガバメントクラウドに移行する努力義務が課されている。ガバメントクラウドは府省庁や国の機関、自治体が利用する政府共通のパブリッククラウド利用環境であるが、ガバメントクラウドでクラウドサービスの提供を米国企業に任せるのは経済的にデメリットとデジタル資産の喪失のリスクがあるのではないかと考えている。</p>	町 長
		① 本町はガバメントクラウドについて、どのような認識をされているか。	
		② 現在、本町のクラウドサービスはどのような環境か。	
		<p>(2) ガバメントクラウドの目標は、政府情報システムや地方公共団体情報システムのクラウド利用を促進して、システムの効率化やコスト削減、セキュリティ向上などを図ることとされている。そして、デジタル庁は、自治体におけるデジタル化を推進するため、ガバメントクラウドの導入を2025年度末までの努力目標として掲げている。</p>	
		① 本町が考えるガバメントクラウドのメリット、デメリットは。	
		② 今後、クラウド環境についてどのような取り組みを行っていくか。	
		<p>(3) 現在、CSP（クラウドサービスプロバイダ）は外国企業4社であり、日本企業1社が提供準備中である。そのため、令和6年度末までにガバメントクラウドに移行することが求められる地方自治体にとって、事実上、日本企業のCSPを選択することができない状況にある。</p> <p>① 国の情報や地方全ての個人情報をも一つのクラウド（米国企業）で保管することはリスクが大きいと考えるが、見解を伺う。</p>	

令和7年第1回定例会一般質問通告書

質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
土岐 和貴 議 員	1 ガバメントクラウドとデータ主権及び経済安全保障について	<p>(4) 地方自治体がガバメントクラウドに移行する場合には「デジタル基盤改革支援補助金」が支給されるが、地方自治体が自前のデータセンターでデータ管理を継続するなど、オンプレミス継続の場合には補助金は支給されない。</p> <p>① 住民情報を扱う地方自治体にとって、データの安全性や運用コストの面で、オンプレミス継続とガバメントクラウド移行のどちらが合理的かは、今後も慎重に議論すべきではないか。</p>	町長
	2 魅力ある公務員の仕事をPRすることについて	<p>(1) 令和6年第4回定例会において地方公務員のなり手不足の問題について質問。令和6年度喜界町職員採用候補者試験の2次募集後の経過を踏まえて、今後の取り組みや協議内容等を伺う。</p> <p>① 今年度の職員の採用人数は。</p> <p>② 今回の結果を基に、本町はどのような協議を行っているか。</p> <p>③ 大学生向けに「役場インターン」を実施してはどうか。</p> <p>④ 給与や待遇の改善は検討しているか。</p> <p>⑤ 奨学金返済サポート制度を新たに導入してはどうか。</p> <p>⑥ 「民間企業型採用」を導入してはどうか。</p> <p>(2) 「魅力ある公務員の仕事」を見える化をして発信していくことが必要である。</p> <p>① 若手職員が仕事の魅力を伝える「リアル公務員ライフ」SNS配信など（YouTube, Instagram）などを活用することで町内外に公務員の魅力をPRできるのではないか。</p> <p>② 「1日密着」、「先輩インタビュー」など意外と知られていない公務員の仕事の発信は魅力をPRできるだけでなく、低予算でも実現可能である。今後のなり手不足解消に向けて検討していただけないか。</p>	町長
	3 漁業のインターン制度と新規参入について	<p>(1) 漁業の担い手不足を解消するために、「興味を持ってもらう」工夫が重要だと考える。</p> <p>① 本町でも漁業と観光を組み合わせた本町独自の観光プログラムを考えてみてはどうか。</p> <p>② 中高生向けの漁業授業・職場体験は今後取り入れることは可能か。</p> <p>③ 漁業インターン制度（短期お試しで経験できる）仕組みづくりは可能か。</p>	町長

令和7年第1回定例会一般質問通告書

質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
土岐 和貴 議員	4 子どもや子育て家族を地域全体で支えることについて	<p>(1) 結婚と子育てを応援するまちづくりでは、子どもや子育て家族を地域全体で支える組織的な支援体制が重要になってくる。</p> <p>① 子育て世帯をサポートするため、必要に応じて、子どもを一時預かりできる「子育て預かりサポート事業」が検討されているが、進捗状況を伺う。</p> <p>② 「人を増やさなくてもできる」仕組みづくりが大切になってくる。地域全体で支えていくために「地域子育てサポート制度」を新たに導入してはどうか。</p> <p>③ (地域子育てサポート制度) 短期間の研修を受けた人に、地域子育てサポート認定証を発行。対象者は高齢者、主婦、学生など(資格がなくても良い)認定証をもらった町民で無理なくシフト制で関わられる仕組みにすれば、「子育て預かりサポート事業」も実現可能になるのではないかと考えるが、見解を伺う。</p>	町長
	5 町の将来像について	(1) 町長が考える喜界町の将来像について伺う。	
原田 尚樹 議員	1 日本ジオパーク認定に伴う、地域整備について	2025年元旦の南海日日新聞の表紙1面を使用し、本町の日本ジオパーク申請の記事が掲載されていた。奄美群島初のジオパーク認定とのことで、県内外に喜界島の認知度は広がった。そこで、観光スポットの整備、観光スポットまでの道路整備、喜界島の魅力ある観光について4点、伺う。	町長
		(1) 観光客が喜界島のジオスポットに訪れた際、サンゴの段丘が一望できるテールバンタは、観光スポットとしての整備が不十分だと考える。観光客の来島数が増加する中、展望デッキの設置など観光スポットの整備状況について伺う。	
		(2) 南海日日新聞の記事の一部では荒木・中里遊歩道で植物群の特徴を解説する写真なども掲載されており、遊歩道にも行きたいと思う観光客も増えると考えますが、荒木・中里間の遊歩道の整備状況(手すりの設置・順路案内・展望台整備等)・整備計画を伺う。	
		(3) スギラビーチ方面の奄美トレイルAコースから荒木・中里遊歩道に入る道路など観光スポットに行くまでの道路整備が不十分であると考えます。観光客に優しい道路標識案内・道路の整備状況や整備計画を伺う。	
(4) 喜界島の特異な島の成り立ちやサンゴとの共生してきた歴史と文化や観光スポットなど、今後喜界島の観光の充実として、観光客に対してジオツーリズムを体感していただく為に観光DXの促進や奄美群島認定エコツアーガイドの増員などが不可欠だと考える。今後の本町の観光DX促進や認定エコツアーガイドの増員に向けた取り組みなど伺う。			

令和7年第1回定例会一般質問通告書

質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
原田 尚樹 議 員	2 町民への周知・告知の媒体について	<p>本町でも年始からスポーツイベントをはじめ、各種催しが開催されており、これらを含めた行政連絡を防災無線等で町民へ事前告知・周知されている。しかしながら、すべての町民が必要な情報を確実に取得できているとは言えないことから、2点伺う</p>	町長
		<p>(1) 広報きかい等の紙媒体ではリアルタイムの情報が不足し、防災無線は外出時には必要な情報が入らない場合もある。これら以外にも町民に情報を届けるツール・媒体はあるか伺う。</p>	
		<p>(2) スマートフォンを使ってテキストメッセージや音声通話、ビデオ通話などを行うことができるコミュニケーションプラットフォームのLINEを活用している自治体が多くみられるが、本町のLINEの活用状況を伺う。</p>	
3 本町の学習支援について		<p>2023年度の鹿児島県内の小中高生の不登校数が5432名と6年連続で最多を更新したとの新聞記事を目にした。前年から925名も増加している。そこで2点伺う。</p>	教育長
		<p>(1) 令和5年度、6年度で不登校による欠席が長期化していた児童・生徒が再登校している件数を伺う。また再登校に結びついた改善策を伺う。</p>	
		<p>(2) ネット環境が向上し、全国では3Dメタバースを活用した不登校支援を行っている学校がある。インターネットを活用した支援による新たな教育環境の整備が必要だと考えるが見解を伺う。</p>	
4 公共施設の指定管理者制度による民間委託について		<p>更なるサービス向上や新たなサービス提供などが期待される公共施設の指定管理者制度による民間委託について2点伺う。</p>	教育長
		<p>(1) 指定管理者制度の活用により図書館の開館時間を延長したり、電子アプリによる本の予約やカフェの併設など、サービスが向上して図書館の利用者が増えた自治体の事例があります。本町の図書館の民間委託に関して見解を伺う。</p>	
		<p>(2) 本町の体育館について維持管理、メンテナンスなどのコスト面や空き室の有効活用による利用率向上を踏まえて民間委託はできないか伺う。</p>	
5 地域活性化企業人制度の導入について		<p>本町は日本で最も美しい村連合への加盟や世界地質遺産100にも選ばれ、更に今後は日本ジオパーク認定と喜界島のブランド力向上の好機を迎えている。この好機に地場製品の開発、販路拡大、喜界町発展に関わるDXの促進など観光振興や地域経済の活性化に繋がる取り組みを強力に推進する必要がある。そこで伺う。</p>	町長
		<p>(1) 更なる本町発展のためには、民間企業の視点や専門知識、経営感覚などを取り入れながらプロジェクトを遂行して結果を出す必要がある。また、企業の人材が持つノウハウや知見を本町職員が肌で感じ取れるように地域活性化企業人制度の活用を検討していただけないか伺う。</p>	

令和7年第1回定例会一般質問通告書

質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
向井 博己 議 員	1 高齢者保険福祉 計画第9期介護保険 事業について	(1) 要介護者等介護用品助成事業は、在宅で介護している高齢者に対して紙おむつ等を購入するために6300円を助成しているが、購入品目が決められている。在宅生活の支援と経済的な負担軽減を図ることを目的としていることから、購入品目を広げ使い捨て手袋なども追加できないか伺う。  (2) 要介護者介護手当支給事業は、在宅で介護している家族に対し、介護手当を支給することにより介護者の労をねぎらうとともに、寝たきり高齢者等の福祉の増進並びに親族の扶養意識を高める事を目的としているが、現在の受給者数を含めた現状を伺う。	町長
	2 喜界町HPへのアクセス方法の周知について	(1) 本町に関する様々な連絡・行事等については、ホームページに掲載していると考えるが、高齢者の方々には、どの程度利用されているか疑問である。最近では、高齢者もスマートフォンを持つ方が増えてきている。スマホでラインから本町ホームページをご覧いただけるように、高齢者を対象にマニュアル的なものを作成し配付、周知できないか伺う。	町長
	3 航空マイレージについて	町職員や議会議員の出張時のマイレージについて、町民から問い合わせがある。そこで、本町で一番出張の多い町長にお伺いします。  (1) 航空チケットは、どのような方法で購入されていますか。  2020年12月に内閣官房が出した旅費業務に関するマニュアルの中で、省庁共通公開情報として公費による航空機利用に伴うマイレージの有効活用とあります。公費削減の観点から公用マイレージカードの導入を呼びかけています。そこで質問です。  (2) 函館市は公用マイレージ取扱要領を定め公費削減に努めております。本町においても町長はじめ職員、議会議員に適用できるよう仕組みづくりはできないか伺う。	町長
嶺 和代 議 員	1 町道を利用する町民の交通安全について	「県道から大朝戸へ続く道の途中で農道から出てきた車と接触しそうになった」と町民から不安の声が聞かれましたので、現場周辺を確認に行くと交差点の停止線が薄くなっていました。町民の安全対策のため2点伺います。  (1) 停止線やカーブミラーなど事故防止のために設置されておりますが、定期検査時期や回数についてお伺いします。  (2) 薄くなった停止線の改善については、早急に対応していただけるか伺います。また、カーブミラーについても町内の危険箇所を再度調査いただき、設置を検討していただけないでしょうか。	町長